

**RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ(RWPPi)と記録型 DVD 会議(RDVDC)が  
共同互換性試験を実施中。**

RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ(略称 RWPPi、代表:相澤宏紀)と記録型 DVD 会議(略称 RDVDC、議長:具本國)は、記録可能な DVD である4倍速 DVD-R、2倍速 DVD-RW、3倍速 DVD-RAM それぞれに対応した製品間での互換性試験を共同で2003年9月より実施しており、2004年3月をめどにその成果を公表する予定です。

この共同互換性試験には、記録可能なDVDに関連する世界のほぼ全ての主要なメーカー(ハード、メディア、PCアプリケーション他)が参加しており、これらのメーカー間での製品の記録・再生互換性を高めることで、今後のDVD市場全体の発展のために積極的に貢献してまいります。

実施中の共同互換性試験は、RWPPi ラウンドロビテストと、RDVDC 互換性ワーキンググループ双方の会員が、相互に主催する互換性試験に参加する形態で行われ、全体会議や、個別WGのミーティングを通じて、試験項目や試験の実施スケジュールを検討、実行しています。具体的には、評価方法の検討や物理特性の評価、論理特性の評価、再生互換の確認など、各テーマごとに参加メーカーのすべての組み合わせによる記録・再生の互換性試験を実施しています。(共同互換性試験スケジュールは添付資料を参照ください。)

「世界の主要なハードウェアメーカーの製品を網羅したこの共同互換性試験に参加し、試験を実施できることは、われわれメディアメーカーにとって市場の製品品質の安定化を図れるという意味で、大変重要な活動です。」(小林英明 TDK株式会社第二特許技術グループ部長談)

「この共同互換性試験により、業界を代表する有力メーカーのハードを使って記録・再生互換が検証できることは、DVD業界全体にとって素晴らしいことです。特にわれわれハードメーカーは、開発中の製品を市場に発売する前に互換性の確認ができ、市場品質の確保が図れるという面で、これに勝る活動はありません。」(菊池信恭 ソニー株式会社エレクトロニックマネージャー談)

「製品開発上最も有益なのは、市場に何種類も発売されているハード、メディアとの互換性に関する検証を非常に効率的にできることです。これを自社のみで検証をすることは、到底不可能なことです。その意味で今回の共同互換性試験は大きなメリットがあります。」(徳宿伸弘 株式会社日立 LG データストレージ開発本部 P5 Team 談)。

RWPPiとRDVDCは、今後ともこの共同互換性試験を継続し、将来登場するであろうDVD-R、DVD-RW、DVD-RAMの一層の新規格高速メディアについても互換性の検証を進めていく計画です。

RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ<<http://www.rwppi.com>>

RWPPiは、DVDディスクへの録画、再生を可能にしたDVD-R/DVD-RW規格に基いた関連製品の市場において円滑な普及・促進を目指しています。2000年5月に発足以来、DVD-R/DVD-RW製品に関する各種標準仕様の提案やハードとディスクの互換性の確保などの活動を通じて、お客様の満足度の向上を図っています。

記録型 DVD 会議 <<http://www.rdvdc.org>>

記録型 DVD 会議は、DVDフォーラムで制定された記録型 DVD 規格(DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW)の普及・促進を図るために、2001年4月に発足しました。会員相互の情報交換、互換性の推進活動、展示会での製品共同プロモーションなどの活動を行っています。

添付資料

< 現在実施中の共同互換性試験のスケジュールの一例 >

